

# PDCAチェックシート

実施年度	平成30年度		担当課名	地域創生課
事務事業名	移住交流支援事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p><b>■目的</b></p> <p>移住及び定住の促進による地域の活性化を図るため、移住交流の推進及び移住者の増加を推進する。</p> <p><b>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</b></p> <p>【目標値】</p> <p>○移住者数 400人 ・うち制度利用者 10人 (根拠)総合戦略KPI(27~31年度の累計)</p> <p>【達成値(H30実績)】 (27年度～累計)</p> <p>○移住者数 93人(324人) ・うち制度利用者 47人(171人)</p> <p>【内訳】</p> <p>①お試し暮らし滞在助成金 1件</p> <p>②移住促進家賃等補助金 新規 26件(移住者41人) うち県外 12件(移住者18人) うち県内 14件(移住者23人)</p> <p>③空き家リフォーム事業補助金 6件(移住者6人)</p>	<p><b>■具体的取組</b></p> <p>①お試し暮らし滞在助成金 本市への移住を目的として住居又は仕事を探す活動等を行う者への助成 助成金額：1人当たり宿泊費の1/2 (上限3,000円、1グループ4人、3泊まで)</p> <p>②移住促進家賃等補助金 市内移住者(定住者)への住宅家賃等助成 助成金額：(1)家賃補助 家賃の1/2 (上限県外2万円、市外1万円) (2)一時金補助 初期費用の1/2(上限6万円) 助成期間：最大24ヵ月以内</p> <p>③空き家リフォーム事業補助金 空き家リフォーム費用への助成 助成金額：対象経費の1/2(上限100万円) (通例)対象経費の1/2(上限50万円) (特例：県補助)市上限額を超える部分の対象経費の1/2(上限50万円)</p> <p><b>■インプット(投入金額等)</b></p> <p>①お試し暮らし滞在助成金 12千円 ②移住促進家賃等補助金 7,961千円 ③空き家リフォーム事業補助金 5,016千円</p> <p><b>■アウトプット(数量等)</b></p> <p>①お試し暮らし滞在助成金 1件 ②移住促進家賃等補助金 26件(新規) ③空き家リフォーム事業補助金 6件</p>	<p><b>■成果指標の具体的検証結果</b></p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>お試し暮らし滞在助成金は、1件2名の利用があった。 移住促進家賃等補助制度は、制度がなければ市外に住むという回答が3件あり、一定の効果が認められる。 また、空き家リフォーム事業補助制度は、制度があったことにより、3件が中古物件の購入を決意しており、中古物件の購入促進や空き家バンクへの市内空き家情報の掲載促進など、空き家対策としても一定程度の成果が出ている。</p>	<p><b>■検証結果を受けての具体的対応</b></p> <p>各種制度の運用が始まって数年が経過し、市内外への制度の浸透が進んでいるが、類似の制度が近隣市町村でも実施されており大幅な移住者増加にはつながっていない。 今後は、ホームページのリニューアルや移住フェアでの周知強化など、PRに力を入れ、実効性の高い事業展開を図っていく。 また、総合戦略の見直しに併せて今後の事業継続について改廃も含めて検討していく。</p>	

※KPI…重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。